

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【公表番号】特表2002-531312(P2002-531312A)

【公表日】平成14年9月24日(2002.9.24)

【出願番号】特願2000-585108(P2000-585108)

【国際特許分類】

B 6 0 R 21/26 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 R 21/26

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年6月30日(2009.6.30)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自動車安全抑制装置を膨張させる膨張装置において、

貯蔵不活性ガスを所定量受容するチャンバを有する外側ハウジングと、

上記チャンバに設置されるとともに、ガス発生材料を受容する第 1 の発生器キャニスタと、ガス発生材料を受容するとともに上記第 1 の発生器キャニスタに隣接して配置される第 2 の発生器キャニスタと、上記第 1 および第 2 の発生器キャニスタの両方の端部に接続され、上記外側ハウジングに接続された共通ベースとを備えるユニット型ガス発生器キャニスタアッセンブリと、

上記第 1 の発生器キャニスタ内のガス発生材料を点火するように上記第 1 の発生器キャニスタの端部の上記共通ベースに近接して配置された第 1 の点火器と、

上記第 2 の発生器キャニスタ内のガス発生材料を点火するように上記第 2 の発生器キャニスタの端部の上記共通ベースに近接して配置された第 2 の点火器とを備え、

上記第 1 の発生器キャニスタと上記第 2 の発生器キャニスタとのそれぞれは、上記ガス発生材料を上記チャンバ内の貯蔵不活性ガスに露出する複数の開口を備えており、ガス発生材料の点火により好ましくない圧力上昇が発生することを防止し、

上記第 1 の発生器キャニスタ内のガス発生材料を点火して燃焼することにより、上記第 2 の発生器キャニスタ内のガス発生材料を不注意に点火してしまうことを防止するために、上記第 1 の発生器キャニスタの上記複数の開口を上記第 2 の発生器キャニスタの上記複数の開口から距離をおいて配置することにより、上記第 1 の発生器キャニスタの上記複数の開口からのガス流れを、上記第 2 の発生器キャニスタの上記複数の開口に到達する前に、上記チャンバ内の貯蔵不活性ガスにより冷却し、

上記第 1 および第 2 の発生器キャニスタは、共通の第 1 の方向に対向する第 1 の側面と、上記第 1 の方向の実質的に反対である共通の第 2 の方向に対向する第 2 の側面とを備え、

上記第 1 の発生器キャニスタの上記複数の開口は、上記第 1 の側面に設けられ、
上記第 1 の発生器キャニスタの上記第 2 の側面に開口を備えず、

上記第 2 の発生器キャニスタの上記複数の開口は、上記第 2 の側面に設けられ、
上記第 2 の発生器キャニスタの上記第 1 の側面に開口を備えていないことを特徴とする

膨張装置。

【請求項 2】

上記第 1 および第 2 の発生器キャニスタのそれぞれはシリンダ形状であり、

上記共通ベースは、上記第 1 および第 2 の発生器キャニスタから上記ユニット型ガス発生器キャニスタアセンブリの 2 つの対向する側面まで横断するように外側に延びる取り付けフランジを備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の膨張装置。

【請求項 3】

上記外側ハウジングは円形の横断面であり、

上記共通ベースは上記外側ハウジングのチャンバ内に配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の膨張装置。

【請求項 4】

上記外側ハウジングは、上記チャンバの端部近辺に設置されたエンドキャップと、

上記チャンバの上記端部と反対側の端部に形成される排出口とを備えており、

上記排出口の近辺に配置されるとともに、所定圧力レベルに達したときに上記チャンバ内で圧力分解するバーストディスクをさらに備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の膨張装置。

【請求項 5】

上記第 1 の点火器と上記第 2 の点火器とは、上記エンドキャップ上に配置されることを特徴とする請求項 4 に記載の膨張装置。

【請求項 6】

上記第 1 の発生器キャニスタと上記第 2 の発生器キャニスタとの間に高熱ガスが流れることを防止するシール手段を、上記チャンバの端部近辺に設置されたエンドキャップと上記共通ベースとの間に備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の膨張装置。

【請求項 7】

自動車安全抑制装置を膨張させる二段階膨張装置において、

貯蔵不活性ガスを所定量受容するチャンバと自動車安全抑制装置へ加圧ガスを導く排出口とを有する外側ハウジングと、

上記チャンバに設置される第 1 の発生器キャニスタと、

上記チャンバに設置される第 2 の発生器キャニスタと、

上記第 1 の発生器キャニスタ内のガス発生材料を点火する少なくとも 1 つの点火器と、

上記第 2 の発生器キャニスタ内のガス発生材料を点火する少なくとも 1 つの点火器と、

を備え、

上記第 1 の発生器キャニスタは、ガス発生材料を受容する空洞を形成する第 1 のキャニスタ壁と、

上記空洞と上記チャンバとを連通させるように上記第 1 のキャニスタ壁内に形成される少なくとも 1 つの第 1 の開口とを備え、

上記第 1 の発生器キャニスタ内のガス発生材料を、貯蔵不活性ガスに露出することにより、上記ガス発生材料の点火で上記空洞内において不測の圧力上昇が発生することを防止しており、

上記第 2 の発生器キャニスタは、ガス発生材料を受容する空洞を形成する第 2 のキャニスタ壁と、

上記空洞と上記チャンバとを連通させるように上記第 2 のキャニスタ壁内に形成される少なくとも 1 つの第 2 の開口とを備え、

上記第 2 の発生器キャニスタ内のガス発生材料を、貯蔵不活性ガスに露出することにより、上記ガス発生材料の点火で上記空洞内において不測の圧力上昇が発生することを防止しており、

上記第 1 の発生器キャニスタ内のガス発生材料を点火して燃焼することにより、上記第 2 の発生器キャニスタ内のガス発生材料を不注意に点火してしまうことを防止するために、上記第 1 の発生器キャニスタの上記少なくとも 1 つの第 1 の開口を上記第 2 の発生器キャニスタの上記少なくとも 1 つの第 2 の開口から距離をおいて配置することにより、上記第 1 の発生器キャニスタの上記少なくとも 1 つの第 1 の開口からのガス流れを、上記第 2 の発生器キャニスタの上記少なくとも 1 つの第 2 の開口に到達する前に、上記チャンバ内

の貯蔵不活性ガスにより冷却し、

上記第１および第２の発生器キャニスタは、共通の第１の方向に対向する第１の側面と

、

上記第１の方向の実質的に反対である共通の第２の方向に対向する第２の側面とを備え

、

上記第１の発生器キャニスタの上記第１の側面に上記少なくとも１つの第１の開口を備え、

上記第１の発生器キャニスタの上記第２の側面に開口を備えず、

上記第２の発生器キャニスタの上記第２の側面に上記少なくとも１つの第２の開口を備え、

上記第２の発生器キャニスタの上記第１の側面に開口を備えていないことを特徴とする膨張装置。

【請求項８】

上記第１の発生器キャニスタと上記第２の発生器キャニスタとのうち少なくとも１つの中にあるガス発生材料は、低圧下では効率よく燃焼することができないタイプのものであることを特徴とする請求項７に記載の膨張装置。

【請求項９】

上記第１および第２の発生器キャニスタのそれぞれは、上記少なくとも１つの点火器と上記ガス発生材料との間の上記空洞に設置された増圧火薬を備え、

上記少なくとも１つの第１の開口と、上記少なくとも１つの第２の開口とのそれぞれは、増圧開口を含み、その増圧開口は、上記増圧火薬の何れか一方および上記少なくとも１つの点火器に隣接して配置されていることを特徴とする請求項８に記載の膨張装置。

【請求項１０】

上記少なくとも１つの第１の開口と上記少なくとも１つの第２の開口とのそれぞれは、上記第１および第２の発生器キャニスタに沿って軸方向に延びる複数の開口を含んでいることを特徴とする請求項９に記載の膨張装置。

【請求項１１】

上記複数の開口は、２本の開口の列を含んでいることを特徴とする請求項１０に記載の膨張装置。

【請求項１２】

上記第１の発生器キャニスタは、ガス発生材料を第１の所定量受容しており、

上記第２の発生器キャニスタは、ガス発生材料を第１の所定量未満である第２の所定量受容することを特徴とする請求項８に記載の膨張装置。

【請求項１３】

自動車安全抑制装置を膨張させる二段階膨張装置において、

第１の所定圧力レベルにある貯蔵不活性ガスを所定量含むチャンバと、自動車安全抑制装置へ加圧ガスを導く排出口とを有する外側ハウジングと、

上記排出口に近接して配置されるとともに、上記チャンバ内の圧力が第１の所定圧力レベルよりも大きな第２の所定圧力レベルに達すると分解するように調整されたバーストディスクと、

上記チャンバに設置される第１の発生器キャニスタと、

上記チャンバに設置される第２の発生器キャニスタと、

上記第１の発生器キャニスタ内のガス発生材料を点火する少なくとも１つの点火器と、

上記第２の発生器キャニスタ内のガス発生材料を点火する少なくとも１つの点火器と、を備え、

上記第１の発生器キャニスタは、ガス発生材料を受容する空洞と、

上記空洞と上記チャンバとを連通させるように上記第１の発生器キャニスタ内に形成される少なくとも１つの第１の開口とを備え、

上記第２の発生器キャニスタは、ガス発生材料を受容する空洞と、

上記空洞と上記チャンバとを連通させるように上記第２の発生器キャニスタ内に形成さ

れる少なくとも１つの第２の開口とを備え、

上記第１の発生器キャニスタ内のガス発生材料を点火して燃焼することにより、上記第２の発生器キャニスタ内のガス発生材料を不注意に点火してしまうことを防止するために、上記少なくとも１つの第１の開口を上記少なくとも１つの第２の開口から距離をおいて配置することにより、上記少なくとも１つの第１の開口からのガス流れを、上記少なくとも１つの第２の開口に到達する前に、上記チャンバ内の貯蔵不活性ガスにより冷却し、

上記第１および第２の発生器キャニスタは、共通の第１の方向に対向する第１の側面と

上記第１の方向の実質的に反対である共通の第２の方向に対向する第２の側面とを備え

上記第１の発生器キャニスタの上記第１の側面に上記少なくとも１つの第１の開口を備え、

上記第１の発生器キャニスタの上記第２の側面に開口を備えず、

上記第２の発生器キャニスタの上記第２の側面に上記少なくとも１つの第２の開口を備え、

上記第２の発生器キャニスタの上記第１の側面に開口を備えていないことを特徴とする膨張装置。

【請求項１４】

上記外側ハウジングは、上記チャンバの端部近辺に設置されたエンドキャップと、

上記チャンバの上記端部と反対側の端部に形成される排出口とを備えていることを特徴とする請求項１３に記載の膨張装置。

【請求項１５】

上記少なくとも１つの点火器は、上記第１の発生器キャニスタに隣接する、上記チャンバの端部近辺に設置されたエンドキャップ上に設置され、上記第１の発生器キャニスタ内の上記ガス発生材料を点火する第１の点火器と、

上記第２の発生器キャニスタに隣接する上記エンドキャップ上に設置され、上記第２の発生器キャニスタ内の上記ガス発生材料を点火する第２の点火器とを含んでいることを特徴とする請求項１３に記載の膨張装置。

【請求項１６】

上記第１および上記第２の発生器キャニスタ内の上記ガス発生材料を、貯蔵不活性ガスに常時露出することにより、上記ガス発生材料の点火で上記各空洞内に好ましくない圧力上昇が発生することを防止しており、

上記少なくとも１つの第１の開口と上記少なくとも１つの第２の開口とのそれぞれは、上記第１および第２の発生器キャニスタに沿って軸方向に延びる複数の開口を備え、

上記第１の発生器キャニスタと上記第２の発生器キャニスタとのうち少なくとも１つの中にあるガス発生材料は、低圧下では効率よく燃焼することができないタイプのものであることを特徴とする請求項１３に記載の膨張装置。

—